

球磨清流学園一体型校舎整備設計提案（プロポーザル）作成要領

1 プロポーザルによって選定される者の設計業務

プロポーザルによって選定される者の設計業務は、球磨清流学園一体型校舎整備に係る設計業務である（詳細は、「球磨清流学園一体型校舎整備設計に係る仕様書」を確認すること）。

2 プロポーザルの内容

（１）提出書類は、下表のとおりとする。

提出書類一覧

名称	様式	規格	注意事項
○ 提出書	様式 1	A 4 判・タテ	
○ 応募登録名	様式 2	A 4 判・タテ	
○ 当該業務に携わる 担当チームの資格 ○ 担当者一覧 ○ 業務実績詳細	様式 3	A 3 判・ヨコ	○担当者一覧の「業務実績」欄は、 これまでに主体的に関わった 設計等の業務を 3 つ以内で記 入すること ○業務実績詳細には、応募者又は 共同応募者が所属する建築士 事務所等が主体的に関わった ものの中から、代表的なものを 記入すること（木造建築の実績 を含むことが望ましい） ※応募資格を満たすことが分か るように記載すること
○ 当該業務に携わる 担当チームの資格 ○ 担当者一覧 （氏名なし） ○ 業務実績詳細	様式 4	A 3 判・ヨコ	○上記様式 3 から氏名を削除し たもの
○ テーマについての 提案 ○ 概算工事費及び内 訳	様式 5	A 3 判・ヨコ 4 枚以内	○2（２）に記載する①から⑤ま でのテーマに関して提案する こと ○学校施設及び全体計画、屋外外 構計画等について、計 4 枚以内 で作成すること ○応募者の氏名、所属その他の応 募者を特定する情報を掲載し ないこと ○最終ページに概算工事費及び 内訳を記載すること

（２）プロポーザル（様式 5）には、次の項目に関して提案すること。

- ① 多様な学びを誘発する学習環境の創出と敷地特性を活かした空間構成に関する考え方
 - ・義務教育学校としての学びの在り方と、既存施設や球磨村独自の景観や自然環境との調和を図った全体配置に関する考え方
- ② 拠点機能の確保と将来の変化に対応する柔軟な施設整備に関する考え方
 - ・地域の防災拠点としての確かな安全性と、将来の社会情勢や教育ニーズの変化に対応できる可変性に関する考え方

- ③ 県産木材を積極的に活用した施設整備に関する考え方
 - ・ 県産木材の利用に配慮した構造計画及び内装木質化に関する考え方
- ④ ユニバーサルデザインに配慮した施設整備に関する考え方
 - ・ バリアフリーやユニバーサルデザインに配慮した施設整備の考え方
- ⑤ 環境負荷の低減とライフサイクルコストの縮減に関する考え方
 - ・ 環境負荷の低減・自然エネルギーの活用に関心するとともに、イニシャルコスト及びライフサイクルコストの縮減に関する考え方

(3) プロポーザル(様式5)の作成に当たっては、以下の事項に留意すること。

- ① 提案は、基本的な考え方を簡潔に記述すること。文字の大きさは、8ポイント以上とすること。
- ② 写真、イラスト、イメージ図等を使用して構わない。ただし、応募者の氏名、所属その他応募者を特定する情報を掲載しないこと。
- ③ パネル化をしないこと。カバーを付けないこと。
- ④ 模型の提出は不可とするが、模型写真の使用は可とする。
なお、二次審査時には、模型の持ち込みを可とするが、模型の有無で審査結果が左右されることはない。
- ⑤ 概算工事費については、建築工事、各種設備工事及び外構工事等を含むものとし、税込み表記とすること。また、内訳については、「校舎棟」、「給食棟」、「駐車場・外構整備」及び「既存建物改修」等に分けて記載すること。